

4853 **パリ滞在記：ローム通り・楽器店での目撃** 144



言葉はいらないだろう。向かい側の通路からの視点。

見過ごし通りすぎるができなかった。映画の一場面のように思えた。

周りは暗い。ウインドーが額のように思えた。しばらく見ていた。

職人さんの熱心さも、少女の真顔も伝わってきた。画像記録したい衝動にかられた。

この日だけではなかった。この通りが、好きになった。

